

解説資料

アスファルトの荷卸し時の安全ガイド

2025年9月22日

一般社団法人 日本アスファルト協会
一般社団法人 日本改質アスファルト協会

アスファルトの荷卸し時の安全ガイド作成にあたって

日本アスファルト協会では、2024年度に全国のアスファルト運送業界の現状および課題に関するアンケート調査を実施しました。

その結果、様々な課題が浮き彫りになりました。その中でもアスファルト納入におけるタンクローリーの荷卸し時における安全対策については必須と考え、荷卸し時の安全ガイドを作成することとしました。

本安全ガイドは、3部構成です。はじめに、ローリーの乗務員の安全に関わるために第1部から作成しました。納入工場の設備に関する点検・改善に関する第2部、安全や安定供給に関わる設備の投資が伴う将来的な設備に関する第3部を今後作成する予定です。

2024年問題を受けて運送会社アンケートを実施（アスゼミ発表資料から抜粋）

アスファルト運送会社に対して、
2024年問題も含め、アスファルト運送業界の現状および課題に関する実態調査を実施。
（調査期間：2024年8月29日～10月25日）

アンケート対象運送会社：

日本アスファルト協会会員25社から取引のある全国のアスファルト運送会社をノミネート。
合計78社 を調査対象とした。

アンケート結果集計・分析

78社のうち、4社はアスファルトから撤退、3社は他社と統合のため**71社の回答**を集計・分析。

ご回答いただいた運送会社様をはじめ、回答のお願いに関係した元売り会社様、販売店様の
皆さまのご協力に感謝申し上げます。
本アンケート結果につきましては、関係各所と共有し今後の改善に向けて取り組んでまいります。

<本日のご説明>

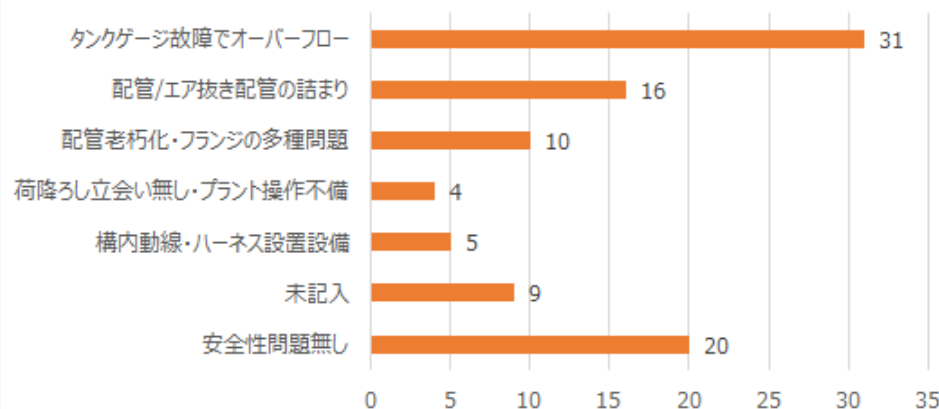
1. 運送会社とローリー台数
2. **安全対策の必要性**
3. 低稼働率の課題 1：当日キャンセル
4. 低稼働率の課題 2：納入時間指定
5. 参考）季節変動と地域差

課題 2：安全対策の必要性（アスゼミ発表資料から抜粋）

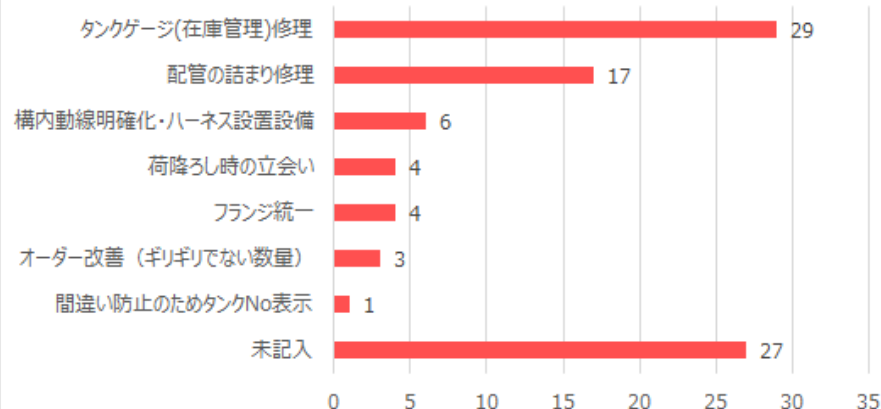
- 納入現場での荷下ろし以外の作業指示があると回答した会社が全体の約60%
- 以下のような作業について、安全性に不安があるとの回答
 - ✓ タンクゲージの故障/在庫管理の不徹底（場合によってはタンク上部からの確認を要請される）
 - ✓ 配管の詰まりによるアスファルト飛散（上記と合わせて、アスファルトは高温なので危険）
 - ✓ 荷下ろし時の立会いが無い/安全対策が不十分（構内動線やハーネスの有無など）
- 乗務員の安全については、速やかな対策が必要（→次頁）

アンケートの集計結果（具体的な事例・・・複数記載可）

危険事例（71社の内、42社事例記入、複数回答有）



安全改善要望（71社の内、44社回答、複数回答有）

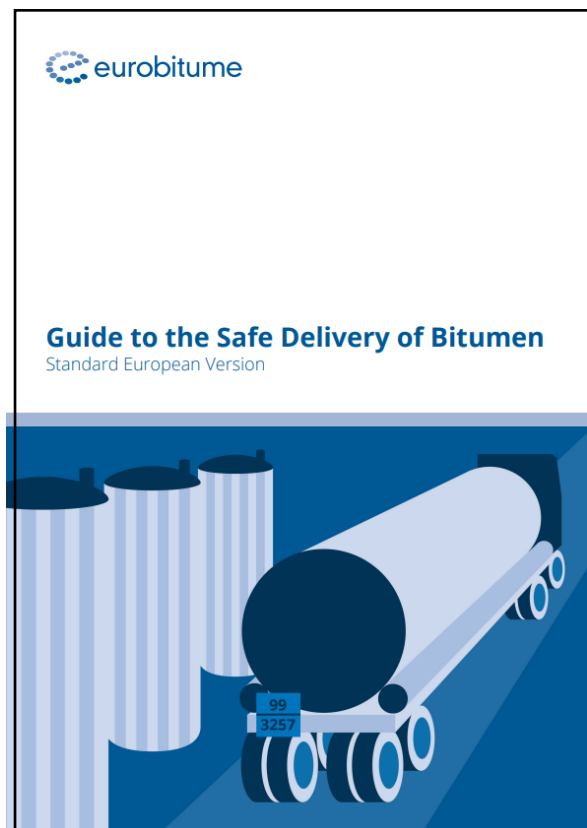


課題 2 : 安全対策の必要性 (アスゼミ発表資料から抜粋)

(前頁を受けて)

- 乗務員の安全については、速やかな対策が必要
- 設備的な対応も必要なが想定されるため、具体的な対策について検討・協議する
- 2025年度に、アスファルト協会と関係者との協働で、ガイドラインを作成していきたい

ヨーロッパでは協会が安全に関するガイドラインを出している模様。



アスファルトの荷卸し時の安全ガイド

第1部 納入作業に伴う安全ルール

第2部 安全のための設備保全・推奨設備

第3部 将来的な設備投資

アスファルトの荷卸し時の安全ガイド

第1部 納入作業に伴う安全ルール

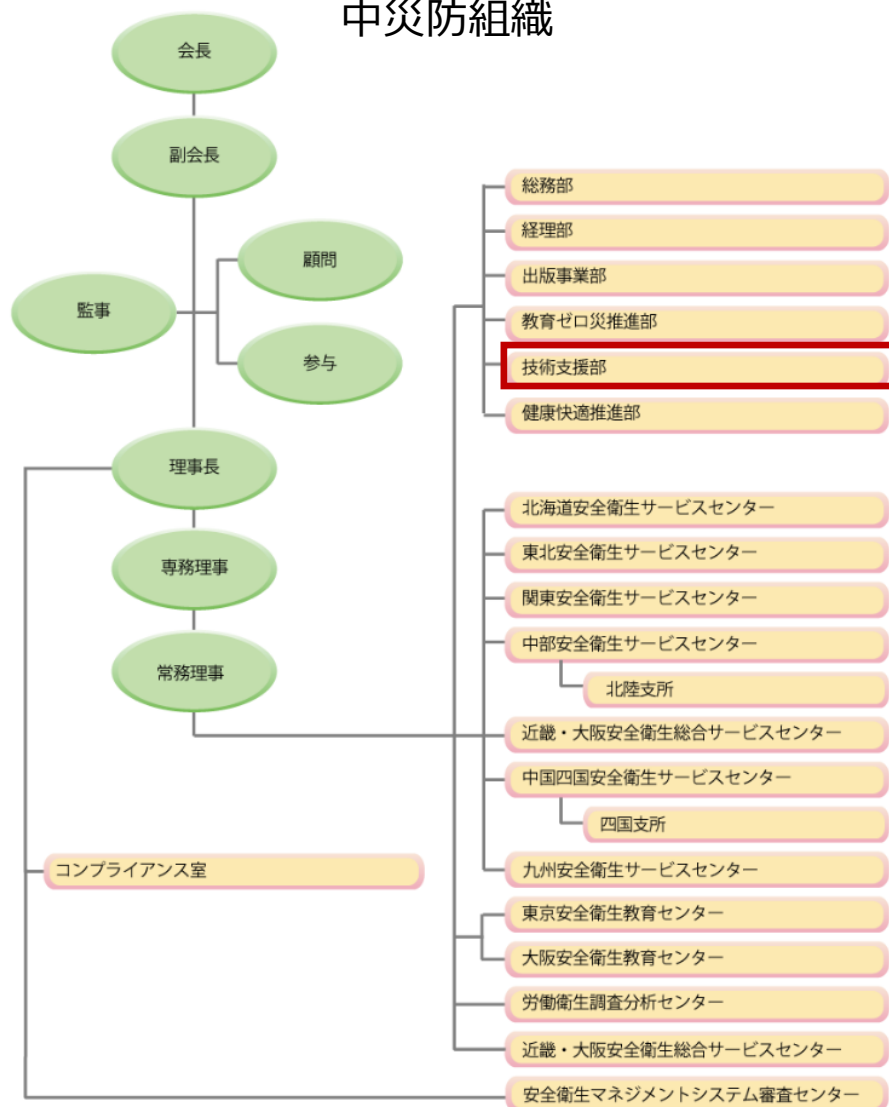
第2部 安全のための設備保全・推奨設備

第3部 将来的な設備投資

2025年度はアスファルトローリー乗務員の安全に関わる
第1部の作成から開始

中災防とは

中災防組織



中央労働災害防止協会(中災防)は事業主の自主的な労働災害防止活動の促進を通じて、安全衛生の向上を図り、労働災害を防止することを目事業主の自的に、労働災害防止団体にに基づき、昭和39年（1964年）8月1日に労働大臣（現：厚生労働大臣）の認可により設立された特別民間法人。

事業主の方々の自主的な労働災害防止活動を促進し、働く人々の安全と健康を確保するための総合的活動を行っている。

日本アスファルト合材協会より、安全ガイドの作成については、中央労働災害防止協会(中災防)に相談するのが良いと勧められ、中災防に問合せしたところ、中災防の中の本部組織である、**技術支援部**に訪問し、アドバイスをいただいた。

アスファルトの荷卸し時の安全ガイド（目次）

構成

第1部 納入作業に伴う安全ルール

1.はじめに

安全ガイド第1部の目的

2.事前準備

顧客工場構内図・経路
設備情報（タンク・フランジ・ホース）
緊急装置
工場固有の安全及び緊急手順
乗務員登録、教育、及び保護具
車両登録、点検、及び装備

3.現場到着時

待機位置、停車位置
納品書照合、動線・タンク指示
受入れタンク残量、空間容量確認
タンクゲージの不具合
乗務員のタンク上部目視確認

4.荷卸し時、荷卸し後

配管・エア抜き配管詰まり改善
乗務員のバーナー加熱
荷卸し時立会い
受入れ数量の異常・過不足確認

5.事故・災害時の対処（初動対応）

漏油（オーバーフロー）・飛散事故

6.通報・緊急連絡・荷卸し確認チェックリスト

第2部 安全のための設備保全・推奨設備

貯蔵タンクの計測装置・警報装置
貯蔵タンクの設計と仕様
貯蔵温度
配管・エア抜き配管・フランジ

第3部 将来的な設備投資

貯蔵タンクの大型化
在庫自動管理

荷卸し時の安全ガイド（第1部）

第1部（約20ページ）を日本アスファルト協会・日本改質アスファルト協会連盟で日本アスファルト合材協会に提出し、日本アスファルト合材協会の総務部会（2025.8.19.）、労働安全環境部会（2025.8.22.）にて説明。コメントを踏まえて一部修正し、あらためて9月22日に提出。



まとめ

アスファルトの中長期安定供給に向けて、アスファルトの物流体制を適切に維持することは不可欠であります。アスファルト運送における課題の一つである『納入現場における安全対策』を納入側、受入側の双方の協力の下に改善するため、関係の皆様のご支援、ご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。